

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年11月6日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34番31号 (電話)099-250-2643
自己評価作成日	平成22年8月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://kaken-shakyo.jp/kohyo">http://kaken-shakyo.jp/kohyo</a>
-------------	-------------------------------------------------------------------------

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成22年10月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・安易なオムツ使用はせず、トイレでの排泄が出来る様、その人の排泄パターンをチェックしてその人に合わせた誘導の仕方を行っている。
- ・野外活動の計画をし、ソーメン流しや外食・動物園等へ出かけたり、日頃は近くの公園へ天気の良い日は出かけ、自然の中で地域の子供達と触れ合っている。
- ・地域の行事にも参加し気軽に声を掛け合う等、交流を図っている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・このホームは住宅地の中にあり、近くの公園に毎日散歩に出かけたり、外出の機会を多く持ち、地域住民や自然とのふれ合いを大切にしている。
- ・認知症になっても閉じこもることなく、通常の生活があたりまえのようにできる生活支援を目指し、職員がチームワークよく明るく楽しく取り組んでいる。
- ・安易にオムツを使用せず、排泄の自立支援に向けた取り組みを行っている。
- ・口腔ケアを重視している。また、食事時に新聞紙で作成した棒体操や嚥下体操を取り入れ、利用者が楽しく取り組んでいる。
- ・利用者は夏祭りには浴衣、正月には着物を着るなど、季節行事を大切にしている。
- ・協力医療機関との連携を確立し、薬剤師による薬のセット等、配慮している。
- ・研修体制が充実しており、職員は自己研鑽意欲が高く、資格取得に向けたサポート体制ができている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所独自の理念を作り朝申し送り後、唱和しており管理者と職員は理念を共用し、日々のケアに努めている。	理念は全職員で意見を出し合い検討して作成し、毎朝申し送り時に唱和している。理念が日々のケアに活かされるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の文化祭や夏祭りに参加して交流している。避難訓練の参加、救急蘇生教室のチラシ配りをし参加して頂けるよう呼びかけをしている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや小学校の文化祭に入居者と一緒に参加している。グループホームで実施する災害訓練への参加の呼びかけを地域に行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	人材育成の貢献として実習生の受け入れを積極的に受け入れている。地域の幼稚園児・小中学生の職場体験も受け入れている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	民生委員の方や町内会の会長様包括センターの方、家族に運営推進会議に参加して頂き質問を出し合い意見交換などしている。	会議は年6回開催し、入居者の状況や活動内容報告、防災訓練、認知症についての理解を深める等の話し合いを行っている。参加者からの意見を聞きながら入居者のサービス向上に活かす取り組みにつなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>入居者の事で相談したり、社会福祉協議会の方や包括センターの方を行事に招待し現状を知って頂きアドバイスももらっている。</p>	<p>市の担当者に入居者の状況や相談を行ったり、情報交換をしながら連携を図っている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>外部で行われる研修会に積極的に参加し、参加できなかったスタッフには勉強会を開催し皆で知識を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を2カ月毎に行い、外部研修にも参加し、情報を共有しながら、身体拘束をしないケアを実践している。日中は玄関の鍵をかけずに、職員の見守りと気配りで自由な暮らしを支援している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止の研修会等に積極的に参加しミーティングを開いて皆で勉強し合っている。言葉の暴力等しないように努めている。</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護の研修がある時は参加し知識を深める努力をしている。又事業所共情報交換を行うようにしている。</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>管理者より時間をかけて説明し疑問があった時は利用者や家族が納得するまで説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>御家族には毎月本人の様子を書き行事予定表を送付したり面会時家族会等で常に問いかけ何でも言ってもらえる様な雰囲気作りをしている。意見要望等はミーティングで話し合い反映させている。</p>	<p>日頃より家族へ何でも気軽に話してもらおうような関係作りを心がけている。家族会や運営推進会議等で出された意見や要望は話し合いをもち運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティング、勉強会をそれぞれ月一回行い、又個別面談も必要時行い意見や要望を聞く様にしていく。日頃よりコミュニケーション図りを心がけ問いかけたり聞き出ししたりする様にしていく。</p>	<p>毎月のミーティングや勉強会で、意見を出し合っている。管理者は随時、個人面談も行いながら職員の意見や要望を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の資格取得に向けた支援を行い取得後は給与面もアップし本人の意向を重視しながら職場内で活かせる働きやすい環境作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間研修を計画し経験や習熟度の段階に応じた人数を割り当て研修を行っている。又外部研修には多くの職員が受講出来る様にしており出席へのもしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>毎月一回谷山地区で行われているGHの研修に参加して交流を持つことによりサービスの質の向上を目指している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	直接見学に出向いていただき施設を見てもらった上で、ご本人の困っている事や不安をより詳しく聞けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学時にはご本人に付き添ってもらい、御家族の不安や困り事もよく聞けるように心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用開始前に管理者が会いに行ったりホームに来てもらい見学をしてもらったりお茶を飲んでもらい、短期間過ごしてもらっている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の思い等を知り共に支え合う関係作りをしている。今まで経験された事が発揮出来る場面をセッティングや工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族が一緒に過ごせるように声かけやセッティングし本人と家族の潤滑油になるように心掛けている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	昔から利用している美容院に行かれる方や、命日の墓参りに行かれる方等一人一人の今までの習慣を尊重している。	墓参りや自宅訪問へ家族と外出したり、職員が支援して馴染みの美容室を利用している。入居者の友人が面会に訪れるなど、継続的な交流ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎日のお茶や食事、レクリエーションを共にし、多くの会話を持ち役割活動を通じて利用者同士の関係がうまくいくよう調整役となっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期の入院等で退去されても、お見舞いに行ったり家族からの相談に乗っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々のかかわりの中で言葉や表情等から、その人の思い又意思疎通が困難な方にも日々の行動や表情から汲み取り把握に努めている。	日々の関わりの中で、行動や表情から本人の思いや希望を把握し、散歩や買い物等、個々に合わせた支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	その人の生活歴やライフスタイルの情報を得て仏壇に手を合わせたりお供えをしたり柵を準備したり今までして来たことを大切にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	[できない] という情報にとらわれず職員が傍らで一緒にやってみる場面を提供している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	朝のミニミーティングや月一回のミーティングで職員全員での意見交換、モニタリング・カンファレンスを行っている。	介護計画は、本人や家族の意向を取り入れている。各担当者が毎月モニタリング評価を行い、朝のミーティングや毎月のミーティングで話し合いを持ち、個別的で現状に即した計画を作成している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別にファイルを用意し、食事水分量、排泄等、日々の暮らしの様子や本人の言葉、エピソード等を記録している。いつでもすべての職員が確認出来るようにしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の状態や家族の意向に配慮しながら個々の満足を高めるよう努力している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人の希望や体調に応じて訪問歯科、美容サービスを利用してもらっている。オムツ助成やいきいき受診券も活用している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医の他、利用前からの係りつけ医での医療を受けられるよう、御家族と協力し通院介助を行ったり訪問診療に来てもらうケースもある。	利用者や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医の定期往診や緊急時の受診体制も整備され、適切な医療が受けられるよう協力体制が確立されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	看護職員を配置しており常に健康管理や状況変化に応じた支援を行えるようにしている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	入院によるダメージを極力防ぐ為に医師と話し合いする機会を持ち、家族とも回復状況等、情報交換しながら退院支援に結びつけている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	家族会で重度化や終末期についての話し合い御家族の意向を聞いている。又事業所で出来ることの検討。	食事が摂取できなくなったら入院する方向性で、入居時に家族に説明を行っているが、重度化した場合や終末期についての指針や同意書は現在検討の段階にある。	重度化や終末期に向けた事業所としての方針を明示し、家族の意向を確認しながら、チームで支援できる体制作りに期待したい。
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	救急車が到着する前の応急処置や準備すべき事についてケースの想定をしながら勉強会や話し合いを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の協力を得て年2回利用者と共に避難訓練を行っている。運営推進会議で協力や訓練のチラシ配りをして呼びかけている。</p>	<p>消防署の協力をもらいながら夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施している。地域住民の協力体制も得ている。災害に備えての備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄や失禁等の失敗等の本人のプライバシーを損なわないような声の大きさやトーンにも配慮した声かけ対応を心がけている。	日々のケアの中で、自尊心を大切に声かけや対応の仕方を工夫している。職員間で協力し、心遣いに重点をおいたケアを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせて声かけ意思表示が困難な方には表情を読み取っている。本人が決める場面を作っている。洗濯干し、たたみ等は手伝われるか声かけ意思確認をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	散歩やレクリエーションは本人の希望により参加してもらっている。また食事時間や入浴も出来る限り本人の希望に添っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人行きつけの理容、美容室がある方は自由に利用していただいている。又訪問美容も利用してもらっており希望に合わせたカットや毛染めをしてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事はスタッフも一緒にテーブルにつき、楽しくおしゃべりしながら食べている。買い物や調理片付けも一緒に行っている。	買い物や調理・野菜の下ごしらえ・後片付けなど、利用者の力量に応じて職員と一緒にしながら、楽しく食事ができるように、支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の体の状態（糖尿など）により食事の量等を考えている。口いっぱい詰め込む人には少しずつ入れるように、義歯がない人には材料の大きさを工夫する。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりに応じ自分で出来ない利用者には介助を行い自分でできる利用者にも必ず見守り確認を行う。年一回の口腔教室にて指導してもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの力に応じて時間を見て声掛けや誘導することによりトイレで排泄出来るに支援している。	排泄の自立支援に向け、全職員がオムツ使用体験を実施したりしてトイレ誘導を重視するケアに取り組んでいる。排泄チェック表を活用し個々の排泄パターンを把握し、自立に向けた支援に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日常においておやつには手作りヨーグルトやさつま芋など繊維質の多いものを取り入れて水分補給の徹底も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴剤は今まで本人が使っておられた物を購入している。身体を洗う事が出来る方は本人の意思で洗ってもらっている。自分で出来ない方はスタッフが介助している。手の届かない所を手助けしている。	外出や病院受診に合わせて朝入浴したり、夜帰宅時に家族と一緒に入浴するなど、いつでも入浴できるよう支援している。入浴をいやがる利用者には声かけの工夫や入浴剤を使用するなどして対応している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	湿気が多い時期は各居室に除湿をかけ入眠しやすい状態にしている。その時期に合わせて休息している時間に飲み物を出している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	定期薬は薬剤師が来て服薬管理をしている。貧血の薬を飲んでいる方には緑茶は飲まれないよう麦茶又は茶湯をおやつの際に出している。降圧剤を服用している人には果物を出す時グレープフルーツを他の果物に替える等している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月一回お菓子作りを入居者の方と行っている。おはぎ作りねったば、ケーキ、水ようかん作りそれぞれ役割を持ってしている。野菜の下ごしらえ梅干やらっようを漬けたり本人の得意な事で力を発揮できそうな場面を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候を考慮し近場の公園へ一人一人の体調や気持ちを配慮し出掛け歩行困難な方には車椅子を使用したり職員が常に寄り添うなど行っている。予約をして送迎バスで外出に出掛けたりソーメン流しコスモス見学へ出掛けている地域の夏祭り見学に行っている。	日常的には近くの公園を散歩したり、また花見・ソーメン流し・動物園等に出かけている。野外活動時は送迎バスを利用し、弁当持参で家族も一緒に参加し、外出の機会を多く作っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望や家族の協力を得て小額のお金を持っている人もいる。家族よりお金を預かり事業所が管理している人でも外出での買い物のお金等はお金を手渡して自分で支払っていただいている。		
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	本人が電話をかけたいと望まれた時は家族が忙しくない時間帯にかけてあげている。		
52	19	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	フロアの温度湿度など屋外との急激な変化がないよう日常的に配慮している。利用者が集まるホールに季節事の鏡餅、お雛様、鯉幟、七夕、浴衣、クリスマスツリー飾りつけをし季節感を感じられるよう工夫をしている。	広々した明るい空間のホールにはソファが置かれ、季節の花や、手作り作品を飾り、季節感を出している。室温や光の調節を行いながら、快適に過ごせるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者同士でお互いの部屋を訪問しあったり仲のいい利用者同士で歌を唄ったりゲームをされたりして過ごしている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が安らぎを得ることが出来るように馴染みの物タンス家族の仏壇や写真などをおいている。</p>	<p>居室にはベット、布団、タンス、テレビ、机、椅子などの家具や、仏壇、写真、観葉植物、花等が持ち込まれ、本人が居心地良く過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>バリアフリーかつエレベーターがあり廊下には手すりが付いている。各自の居室の表札は名前と野菜ピーマン、人参等のレブリカが下げている。一人ひとりの力を見極め不安な事を取り除き自立支援につなげている。</p>	/	/

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない